

ジョイントアップ いいの

福島市立飯野中学校区
幼・保・小・中連携推進委員会
第2号
平成27年12月15日

小・中学校で一貫性のある指導を！

「書くこと」(国語科) & 「数量関係(関数)」(算数・数学科)の指導法を考えよう！

小中一貫教育研究 2学期の実践紹介

「ジョイントアップいいの 第1号」でお知らせしたとおり、飯野中学校と校区内の3つの小学校では小中一貫教育研究を進めています。9年間の学びの連続性による「学力向上」と「中1ギャップの解消」を目指し、今学期は、国語科と算数・数学科で研究を進めてきました。特に、国語科では「書くこと」及び「話すこと・聞くこと」の領域、算数・数学科では「数量関係(関数)」の領域に焦点をしぼり、小・中学校のつながりを意識した授業に取り組みました。

国語科

9/1(火) 大久保小学校6年授業公開「資料を生かして呼びかけよう」

11/12(木) 飯野小学校6年授業公開「物語を作ろう」

12/10(木) 飯野中学校1年授業公開「感じたことを文章にしよう」



メモをもとに熱心に書き進める子どもたち

飯野小学校では、教科書教材で習得した物語の書き方を活用し、自分の物語の構想を考えてメモを作り、そこから物語を書き上げていく活動に取り組みました。学習と並行してたくさんの物語を読む活動も取り入れ、表現の工夫に役立てました。

小学校での「考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く」学習は、中学校での「日常生活や社会生活にかかわることについて、構成を考えて的確に書く」学習に繋がり、より高度な文章表現力が求められます。

飯野中学校では、小学校2校で行った「書くこと」の学習を受け、芸術作品(絵画)鑑賞文を書くためにその構成を決める授業を公開しました。子どもたちは、友達との意見交流を通し、作品に対する新しい見方や感じ方に気づき、自分の表現をより豊かなものにしようと真剣に取り組みました。

「書くこと」の学習について、小学校のうちに身につけておかなければならない力や中学校に進学してから身につけられる力について、再確認することができました。



意見交流を行う子どもたち

算数・数学科

10/8(木) 青木小学校 6年授業公開「比例と反比例」

12/10(木) 飯野中学校 1年授業公開「比例と反比例」

青木小学校では、比例を活用して問題を解決する授業を行いました。子どもたちは比例の性質を使って問題解決に取り組み、自分の考えを伝えたり友達の話に耳を傾けたりしながら、学び合いを通して理解を深めました。

また、具体物を使って子どもたちの意欲を高めること、様々な練習問題に取り組みさせること等、活用力を伸ばす工夫を意図的に取り入れました。



自分の考えを発表し検討し合う子どもたち



自分の考えを伝え合う子どもたち

比例は中学校での関数の学習につながるだけでなく、日常生活でも使う重要な内容です。飯野中学校では、これまで子どもたちが学んできた比例や反比例の学習事項を実生活の中で利用することをねらった課題を設定し、授業を公開しました。

子どもたちは、小学校でも中学校でも「比例と反比例」を学習します。それぞれの校種での学習内容を知った上で授業を行う大切さを確認しました。

中学生による母校の清掃活動

授業だけでなく、学校行事でも小・中学校の接続を強めてきました。

11月9日(月)、飯野中学校の生徒全員が出身小学校を訪問し、校舎や体育館などの清掃奉仕を行いました。今年、小中一貫教育を意識し、中学生と小学生が一緒の班を編成し、中学生がリーダーとなって作業を分担したり、清掃の仕方を教えたりしながら活動しました。各地域で普段から顔を合わせている生徒、児童同士なので、すぐにうち解け合って作業を進めることができました。中学生は、小学生の後輩たちに活動の手本を示せたようでした。



一緒に母校の掃除をする小・中学生

新入学児童の給食試食会

幼稚園・保育所・小学校の連携もこれまで通り進めています。

大久保小学校では3学期に実施していた新入学児童の給食試食会を11月に早めて開催しました。食事の習慣を改善するには時間がかかるため、給食の様子を早目に知り、練習させたいという保育所からの要望に応えたものです。新入学児童の保護者からは、「思ったより量は多くなかったです。」「骨のある魚が出たので、今から家でも練習させたいと思います。」等のご意見をいただきました。「食育」での連携も大切ですね。



1年生に混ざり親子で給食を試食しました